

運用指針

第2条③

供用までの期間を短縮したことによる費用の縮減

コウ カ ツチヤマ クサ ツ タナカミ
新名神高速道路(甲賀土山IC～草津田上IC)の早期供用

コウ カ ツ チ ヤマ クサ ツ タ ナ ガ
新名神高速道路(甲賀土山IC～草津田上IC)の早期供用

当初計画

【①高野地区】

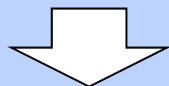
- ・土地収用法による用地取得(平成19年5月まで約15か月間)を予定して供用時期を検討

【②大津ジャンクション(JCT)】

- ・橋梁工事の型枠、張り出し架設ワーゲンを転用
- ・土運搬を通常の10tダンプで計画
- ・舗装工事の作業時間を8～17時で計画

【③池田高架橋】

- ・近隣の建物収去後に下部工着手



供用予定日:平成21年3月31日

経営努力による変更

【①高野地区】

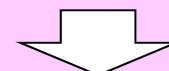
- ・粘り強い交渉を実施し、平成18年7月に任意により用地取得し、約10か月間短縮

【②大津ジャンクション(JCT)】

- ・各橋脚の型枠、張り出し架設ワーゲンを同時施工
- ・土運搬に大型機械(25tダンプ)を採用
- ・舗装工事の朝夕の作業時間を延長

【③池田高架橋】

- ・建物と近接する橋脚の掘削方法を工夫し、着手する時期を遅延することなく工事を進める



供用日:平成20年2月23日
(402日の早期供用)

新名神高速道路(甲賀土山IC～草津田上IC) 位置図



新名神高速道路(甲賀土山IC～草津田上IC)の路線概要

- ・東西の基幹交通を担う大動脈である名神高速道路の代替機能を有する重要路線である。
- ・開通後の交通量は約3万台/日であり、並行する名神高速道路の渋滞緩和や沿線地域の活性化に寄与。

早期供用に向けた全体マネジメント

・クリティカルである高野地区の任意解決に向け、鋭意交渉

・ H18.5月頃、任意解決の見通しが立つ
※H19.5末明け渡し⇒H18.7末明け渡し予定(約10ヶ月短縮)

・用地任意解決を想定し、H18.2～H18.7において、会社の事業関係者による工程検討を実施
(他のクリティカルへの影響、工程上の課題を抽出し、全体の工程を検討)

・大津ジャンクションの工程短縮
(橋梁工事・土工工事)
(約13ヶ月短縮)

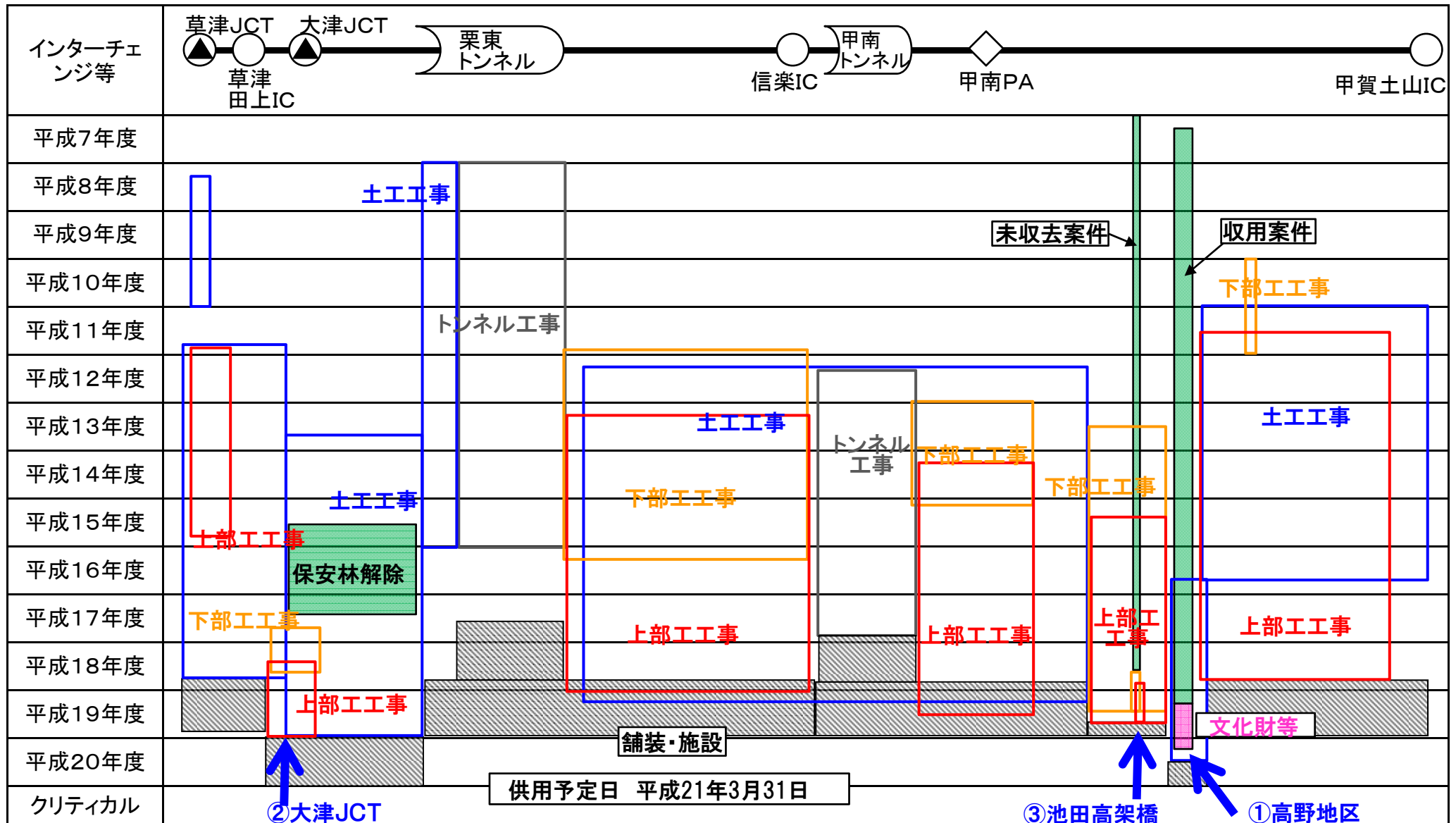
・池田高架橋下部工施工の工夫による工程
遅延の回避

中日本高速道路(株)の区間との同時供用もあり、綿密な連絡・調整を実施

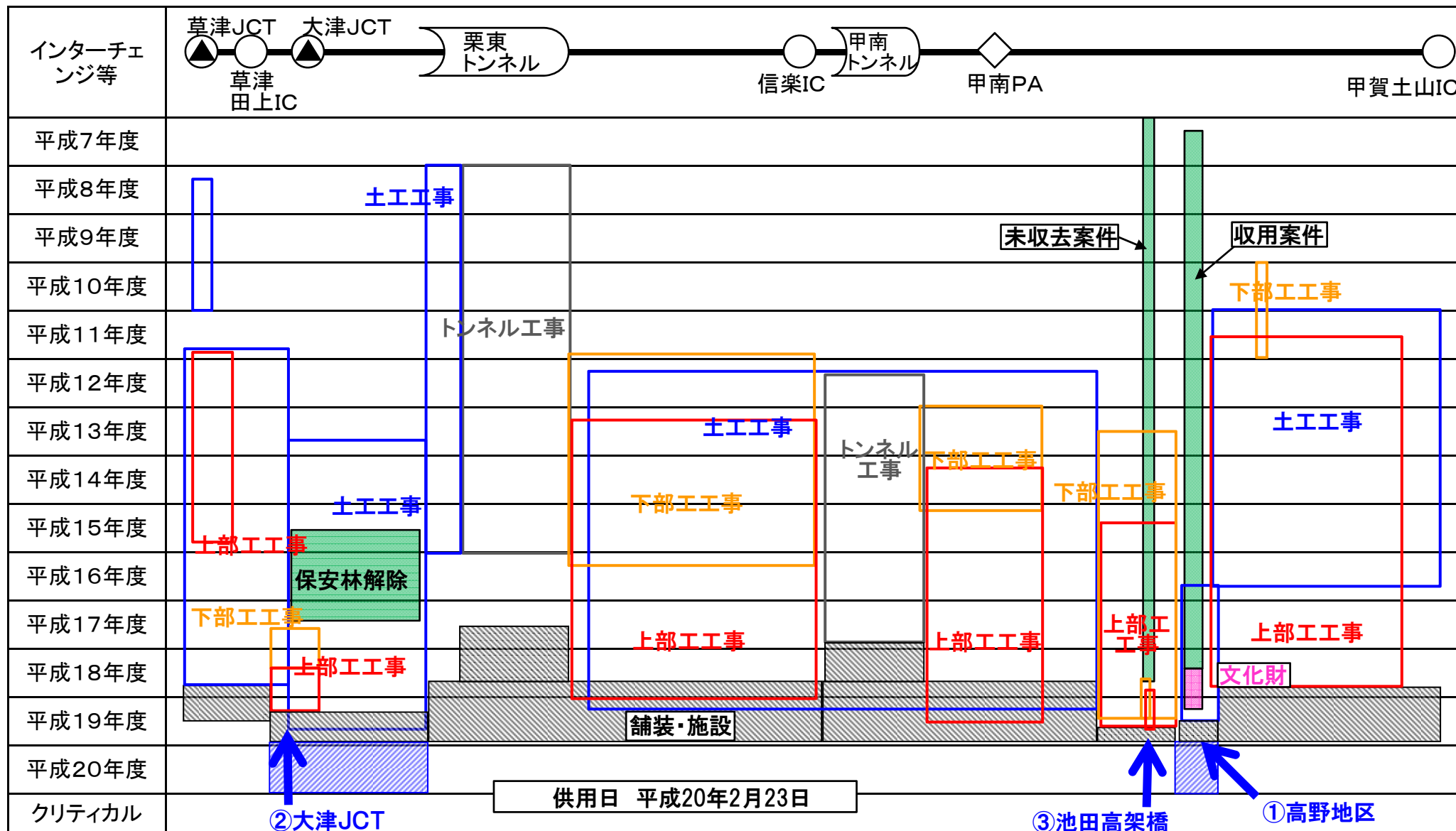
・H20.2を完成目標に、関係者協議、工事等に取り組む

全体マネジメントを行い、早期供用が実現(13ヶ月)

当初工程(新名神 甲賀土山IC～大津JCT)



実績工程(新名神 甲賀土山IC～大津JCT)



①-1 高野地区工程短縮【会社経営努力概要】

■当初工程表(収用の場合)



■実施工程表(任意解決の場合)



◇工程短縮メニュー

【用地】

- ・任意解決により、10ヶ月短縮(交渉回数:約90回)
※電話・訪問等含めれば、約240件

【文化財】

- ・文化財調査のパーティ数を2P→3P(1P:10人)に増強することで、1ヶ月短縮
- ・増強した人員は、NEXCOで確保

【管渠工】

- ・プレキャストボックスカルバートを採用することで、1ヶ月短縮

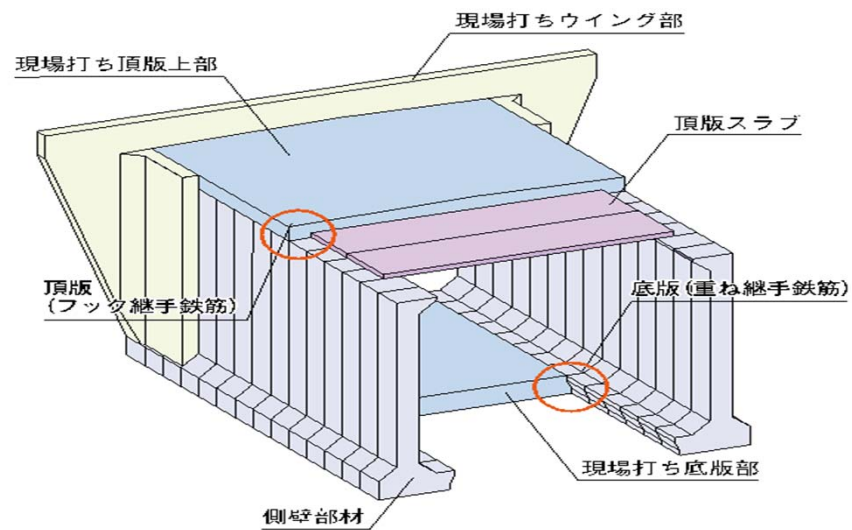
【舗装】

- ・地元協議により作業延長をすることで、1ヶ月短縮(地元への再協議により実施)

※当初(8:00~17:00)⇒変更(7:00~19:00)

全体で約13ヶ月の工程短縮

①-2池田地区工程短縮【会社経営努力概要】



プレキャストBOX構造図



プレキャストBOX

②-1 大津ジャンクション工程短縮【会社経営努力概要】

■当初工程表



■実施工程表(現場努力による工程短縮)



◇工程短縮メニュー

【下部工】

- ・当初、各橋脚に型枠を転用する計画であったが、型枠を同時施工することで、3ヶ月短縮

【上部工】

- ・当初、各橋脚に張出し架設ワーゲンを転用する計画であったが、張出し架設ワーゲンを同時施工することで、4ヶ月短縮

【土工】

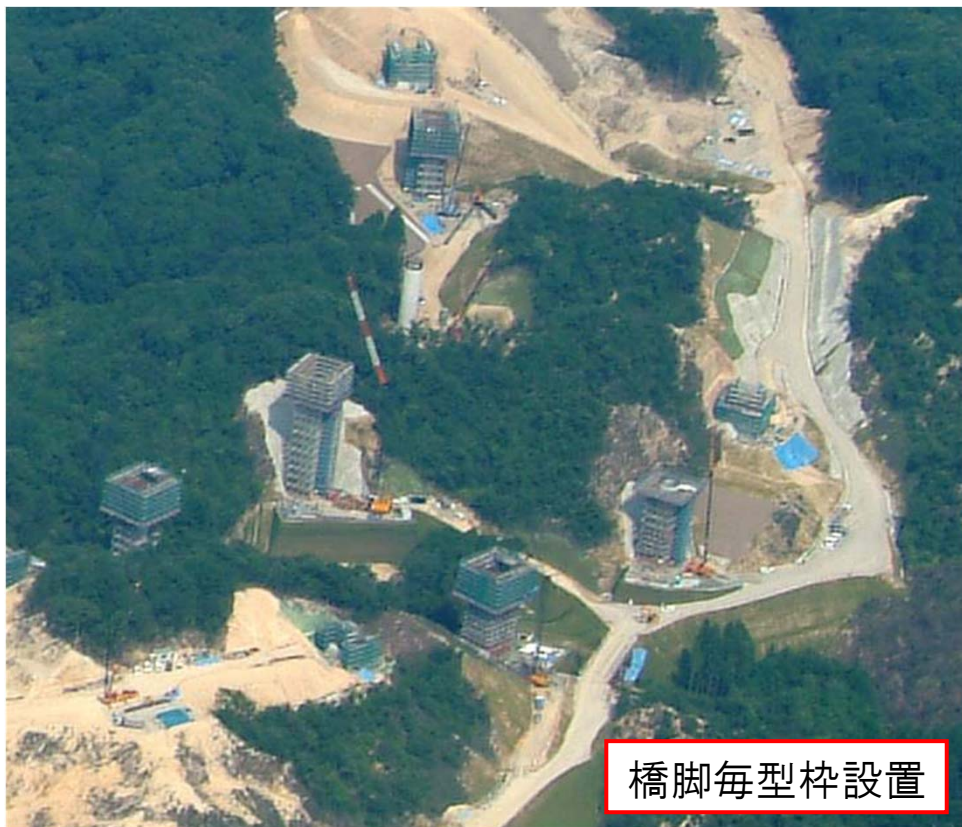
- ・当初、土運搬作業を通常ダンプで作業する計画であったが、大型ダンプに変更することで、3ヶ月短縮
※10tダンプ⇒25tダンプ

【舗装】

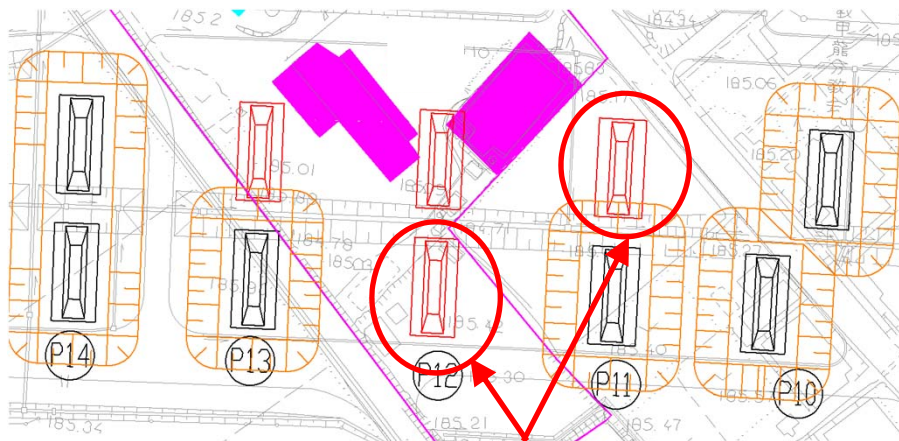
- ・地元協議により作業延長をすることで、3ヶ月短縮（地元への再協議により）
※当初(8:00～17:00) ⇒変更(7:00～19:00)

全体で約13ヶ月の工程短縮

②-2 大津ジャンクション工程短縮【会社経営努力概要】



③-1 池田高架橋における短縮【会社経営努力概要】



建物収去前下部工着手

【下部工】

- ・建物が掛からない橋脚の収去前施工
(近接施工に対する地権者了解を鋭意努力)【2カ月短縮】
※掘削範囲が家屋にかからないよう特殊掘削に変更



建物未収去での橋脚施工状況

③-2池田高架橋における短縮【会社経営努力概要】

■当初工程表

工事工程 問題箇所	平成17年度												平成18年度												平成19年度												平成20年度																
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
池田地区																																																					
開通予定時期																																																					

■実施工程表

工事工程		平成17年度												平成18年度												平成19年度												平成20年度															
問題箇所		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
池田地区																																																					
開通予定時期																																																					

◇工程短縮メニュー

【下部工】

・地権者との鋭意交渉の結果、建物収去前に特殊掘削を併用することで早期に下部工着手したため、2ヶ月短縮

※併せて、上部工・舗装・遮音壁・施設も遅延することなく、当初計画とおり工事進捗が図れた。

施工方法を工夫したことで、当初計画通り着手することが可能となり、2ヶ月の短縮が図れた

工程遅延なし